

河内長野市水泳連盟規約

第1章 総則

第1条 本連盟は、河内長野市水泳連盟と称す

第2条 本連盟は、事務局を河内長野市菊水町6-13 菊水スイミングスクール内に置く

第2章 目的及び事業

第3条 本連盟は、水泳を通じて会員相互の親睦と技術の向上、スポーツ精神の高揚をはかり、あわせて水泳教室などの集団訓練を通じて、正しい社会性を身につけさせると共に、市民の水泳に対する正しい理解と市民全体の技術向上と健康増進を目指し、あわせて水難事故防止に役立つことを目的とする。

第4条 本連盟は前述の目的を達成する為に次の事業を行う。

- (1) 水泳大会の開催ならびに後援
- (2) 水泳教室、講習会等の開催
- (3) 水泳指導員の育成
- (4) 水泳の奨励指導に関すること
- (5) その他、本連盟の目的達成上必要な事業

第3章 組織

第5条 本連盟の組織図は別表のとおりとする。尚、理事長のもとに総務、事業、会員の各委員会を設ける。

第6条 本連盟は、以下の構成員をもって組織する。

- (1) 賛助会員 本連盟の趣旨に賛同し、資金援助をして頂く個人、法人
- (2) 正会員 本連盟の活動に参加していただける個人
- (3) 選手 本連盟の主催する大会に出場者として参加された方は自動的に選手として登録されます。

第7条 本連盟に加盟しようとする者は、役員会の承認を経て加盟することができる。

第8条 本連盟の加盟社が脱退しようとする時は、その理由を附して脱退届を提出し、役員会の承認を受けなければならない。

第4章 役員及び任務

第9条 本連盟に次の役員を置く

会長 1名
副会長 若干名
相談役 若干名
顧問 若干名
理事長 1名
副理事長 若干名
理事 若干名
会計 1名
監査 1名

第10条 役員選出方法は下記のとおりとします

- (1) 本連盟の役員は、賛助会員、正会員の総会の承認を得るものとする。
- (2) 会長は役員会に於いて選出する。
- (3) 副会長及び顧問は役員会に諮り会長が委嘱する。
- (4) 理事長及び副理事長は役員会に於いて理事の互選に基づき会長が委嘱する。
- (5) 会計及び監査は役員会に諮り互選し、会長が委嘱し理事となる。
- (6) 各委員会の委員長は役員会に諮り互選し、会長が委嘱し理事となる。

第11条 役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本連盟を代表しこれを総理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるときはその職務を代行する。
- (3) 顧問は、第2章に基づく事業計画立案実施に伴い意見を述べる。
- (4) 理事長並びに副理事長及び理事は、本連盟の事業の運営をはかるものとする。
- (5) 会計は、金銭の出納、帳簿の整理等の実務、ならびに管理決算書の作成、その他本連盟の資金及び経理に関する事項を行うものとする。
- (6) 会計監査は、年1回以上の会計の監査を行い、その結果を総会で報告する。

第12条 役員の任期は2ヶ年とし、再任を妨げない。

第5章

第13条 本連盟の会議は総会、役員会、理事会、及び委員会とする。総会、役員会は会長が、理事会、委員会は各々理事長、委員長が招集する。理事会は理事長、副理事長、理事及び会計をもって構成される。

第14条 議決機関は役員会及び総会と定める。又総会は年1回と定める。但し、必要がある場合、会長は役員会に諮った上で臨時に総会を開催することが出来る

第6章 会計

第15条 本連盟の経費は次に掲げるものであてゐる。

- (1) 会費 法人賛助会員 年会費 5,000円
 個人賛助会員 年会費 3,000円
- (2) 寄付金
- (3) 事業収入
- (4) その他

第7章 雑務

第16条 規約の改正は、役員会の議を経て、改正することが出来る。

第17条 以上各章各条に基づく細則は、別途役員会に於いて決する。

附則

第1条 本連盟は上記規約に基づき昭和53年4月26日結成する

第2条 平成2年5月26日規約の一部改正を行い、同日をもって施行する。

第3条 平成4年4月18日規約の一部改正を行い、同日をもって施行する。

第4条 平成6年7月16日規約の一部改正を行い、同日をもって施行する。

第5条 平成8年5月18日規約の一部改正を行い、同日をもって施行する。

第6条 平成9年5月24日規約の一部改正を行い、同日をもって施行する。

第7条 平成10年11月21日規約の一部改正を行い、同日をもって施行する。

第8条 平成25年5月18日規約の一部改正を行い、同日をもって施行する。

別表第3章第5条に規定する組織図は以下の通りとする。